

個人質問

議会事務局 処理欄	令和4年11月17日 8時30分 受付
	質問順位 第11番

武豊町議会議長 石原 壽朗 殿

武豊町議会議員 甲斐百合子

一般質問の通告について

令和4年第4回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
<p>1.AYA世代の がん支援と対策 について</p>	<p>【趣旨説明】 15歳から40歳未満の思春期・若年成人の世代のことをAYA世代と呼びます。国立がん研究センターがん対策研究所によりますと、毎年約2万人のAYA世代が、がんを発症すると推定され、がんと診断される人の2.3%に当たります。</p> <p>AYA世代のがんは、他の世代に比べて患者数が少なく、疾患構成も多様であるため、医療従事者に診療や相談支援の経験が蓄積されにくく、また年代によって、がん治療と学業や仕事との両立、恋愛、結婚、生殖、家事、育児など、その方のライフステージによって心理的にも社会的にも状況が異なり、個々に応じた多様な支援が求められます。</p> <p>国においても、平成30年度に「第3期がん対策推進基本計画」にAYA世代のがん対策が明記され、がん治療との両立のための就労支援や長期フォローアップ体制の整備を進めるとしています。</p> <p>一方、末期と診断された患者が住み慣れた自宅で最後まで、日常生活を送ることが出来るよう在宅サービスなどの利用が求められますが、40歳以上であれば、介護保険認定を受けられれば訪問介護・訪問入浴などの介護サービスと福祉用具の貸与が1割～3割の自己負担で利用できるのに対し、AYA世代では介護保険が使えず、自宅で最後の療養をするためには、全額自己負担となり、経済的にも大きな負担となっています。</p> <p>こうした状況に、名古屋市や清須市では、18歳または20歳以上40歳未満の回復の見込みが無いと診断された末期がん患者に対して、在宅ターミナルケア支援事業として、訪問介護や訪問入浴などの介護サービス、また福祉用具の貸与にかかる費用などを助成しています。</p> <p>また、がん等の治療は、生殖機能に影響を及ぼし、妊娠する力・妊娠させる力が低下したり失われたりする恐れがあります。そこで愛知県では、将来自分の子どもを産み育てることを望むAYA世代のがん患者等に精子や卵子等の採取・凍結保存等を行う等の治療に対し助成を行う「がん患者妊よう性温存治療費助成事業」を実施しています。</p> <p>また、20歳～30歳代にかけて乳がん・子宮頸がん・甲状腺がんが増え、特に30歳代では、1位乳がん、2位子宮頸がんと女性のがんが増えています。子宮頸がんの発症予防を目的としたHPVワクチンについては、本年4月より定期接種対象者への積極的勧奨が約9年ぶりに再開され、本町においても対象者に向けて通知を行っていると同っています。</p> <p>現在、定期接種のHPVワクチンは2価と4価ですが、9価HPVワクチンはより多くのHPV型を防ぐ事ができ、約90%の子宮頸がんを予防できるとも言われています。本年11月に厚生労働省の予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会において、令和5年4月から9価HPVワクチンの定期接種化が了承されました。9価HPVワクチン接種が可能となる全ての対象者に対し、周知を行う必要があると考えます。</p> <p>そこで以下、質問します。</p>

【質問事項】

- ① 本町において AYA 世代でがん罹患された方の把握はされていますか。
- ② がん罹患されている方やご家族からの相談支援は行っていますか。
- ③ 愛知県との協調事業として、今年度より実施している「アピアランスケア支援事業」について、利用や問い合わせはどれくらいありましたか。
- ④ 「がん相談支援センター」への案内や「がん患者妊よう性温存治療費助成事業」また、「AYA 世代がん患者家族向けの冊子」など、がん患者に対して、町ホームページや保健センターなどで常に情報提供をするお考えはありますか。
- ⑤ 本町でも「AYA 世代に向けた在宅ターミナルケア支援事業」を実施してはどうでしょうか。本町のお考えは。
- ⑥ 9 価 HPV ワクチン定期接種化について、本町の対応と周知方法をお聞きします。